

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： _____

病院施設番号： 030149 _____ 臨床研修病院の名称： 千葉大学医学部附属病院 _____

臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		産婦人科プログラム			
2. 研修プログラムの特色		<p>この研修プログラムでは、大学病院と地域の臨床研修病院・診療所等が病院群を形成して研修医を受け入れる。</p> <p>1年目に研修協力病院で内科24週以上、救急部門12週以上を研修し、基本外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科12週以上、精神科4週以上、地域医療4週以上（2年目に診療所や中小病院等において行う）、一般外来4週以上（他の一部診療分野等と同時に研修を行うことも可能）、在宅医療を2年間の間に研修する。必修分野の研修は1年目の協力病院において行うが、状況に応じて一部を2年目に行い、残りの期間は大学病院で当該科を重点とした研修を行う。</p> <p>2年目の研修内容については、産婦人科診療の関連領域について研修を行い専門研修の裾野を広げることのできる「産婦人科一般コース」と、一般産婦人科診療スキルのすべてを習得し専門研修プログラムの中に、各自の希望するところを色濃く反映させることのできる「産婦人科研修重点コース」の2コースを用意している。協力病院は当該科医が多い基幹病院であり、豊富な症例数と経験豊富な指導体制を有している。2年間の研修期間にわたり、継続して研修のサポートを行う「チューター」を配置し情報提供を行う。本プログラムを選択した研修医が、産婦人科医として身に着けるべき基本技術を学べる選択科目をアドバイスする他、関連する学術集会や各種研究会・勉強会への参加を支援する。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要		<p>千葉大学医学部附属病院の基本方針には、先端医療の開発・実践と優れた医療人の育成を謳っています。本院は各分野で卓越した専門医を育成してきた伝統があり、その育成システムは卒後研修必修化後も健在です。臨床研修におけるプライマリ・ケアの実践を通して基本的診療能力を身に付け、さらに先進医療を実践することで3年日以降の専門医を育成する専門研修へ円滑に移行することができます。本院の研修では Evidence に基づいた医療と基本的な診療能力の修得を重視しています。さらに、常に患者さんの立場に立って診察を行うことができる Humanity も重要と考えており、自分自身を絶えず見つめなおし、患者さん、看護師、仲間、先輩など、いろいろな人たちから学び・教えあうことで、ともに成長していくことが本院での研修の目標です。</p>			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030149	千葉大学医学部附属病院	24週	※研修期間全体で4週 ※備考欄参照
		030147	国立病院機構千葉医療センター		
		031401	千葉市立海浜病院		
		030163	成田赤十字病院		
	救急部門	030149	千葉大学医学部附属病院	12週	
		030147	国立病院機構千葉医療センター		
		031401	千葉市立海浜病院		
		030163	成田赤十字病院		
	031402	千葉市立青葉病院			

	地域医療	031428 032599 032621 034540 034541 034545 034553 034554 034555 034558 056716 056717 116513 126741 137336 096423 137382 034076 168289 158022 191120 106038 - 031429 - - -	公立長生病院 南浜診療所 医療法人 鎗田病院 ふらっとクリニック稲毛 医療法人緑栄会 三愛記念病院 わかばクリニック こんだこども医院 さとう小児科医院 まなこどもクリニック 医療法人柏葉会 柏戸病院 君津中央病院大佐和分院 三咲内科クリニック 東庄町国民健康保険東庄病院 つばきこどもクリニック 外房こどもクリニック 千城台クリニック 松本医院 国保多古中央病院 鴨川市立国保病院 つかだファミリークリニック 医療法人社団明康会かない内科 医療法人 SHIODA 塩田病院 香取おみがわ医療センター いすみ医療センター 篠崎医院 すずらんクリニック おゆみの中央病院 鋸南病院	1ヶ月 (4週 以上) ※地域医療研修は原則として月単位で行う。	一般外来 4週 ※研修期間全体で4週 在宅医療 0.2週 ※研修期間全体で0.2週 ※備考欄参照
	外科	030149 030147 031401 030163	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 千葉市立海浜病院 成田赤十字病院	4週	※研修期間全体で4週 ※備考欄参照
	小児科	030149 030147 031401 030163 031397 034560 030168	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 千葉市立海浜病院 成田赤十字病院 千葉県こども病院 下志津病院 帝京大学ちば総合医療センター	4週	※研修期間全体で4週 ※備考欄参照
	産婦人科	030149 030147 031401 030163	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 千葉市立海浜病院 成田赤十字病院	12週	
	精神科	030149 030147 030163	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 成田赤十字病院	4週	
	一般外来	030149 030147 031401 030163 034560 030172	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 千葉市立海浜病院 成田赤十字病院 下志津病院 袖ヶ浦さつき台病院	0~4週 ※研修期間全体で4週 (例：他分野とのダブルカウントで不足する場合、単独で行う場合がある)	
病院で 定めた				週	
				週	

必修 科目				週		
				週		
選択 科目	<u>選択科目</u>	030149 030147 031401 030163 031402 031397 034560 030168 034555 034553 034554 137336 030172 031400 034543 116235 034538 191121 116149 - - 178648 -	千葉大学医学部附属病院 国立病院機構千葉医療センター 千葉市立海浜病院 成田赤十字病院 千葉市立青葉病院 千葉県こども病院 下志津病院 帝京大学ちば総合医療センター まなこどもクリニック こんだこども医院 さとう小児科医院 外房こどもクリニック 袖ヶ浦さつき台病院 千葉リハビリテーションセンター 木村病院 みはま病院 北千葉整形外科稲毛クリニック 北千葉整形外科幕張クリニック 子ども在宅クリニックあおぞら診療所うえの 篠崎医院 すずらんクリニック 黒砂台診療所 おゆみの中央病院		36~ 40週	※一般外来は研修 期間全体で4週 ※在宅医療は研修 期間全体で0.2週 ※備考欄参照
	<u>保健・医療行 政</u>	-	国立保健医療科学院		0また は8週	
備考 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 <u>60週</u> 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 <u>12週</u> 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・最大4週 一般外来の研修を行う診療科・・・千葉大学医学部附属病院の総合診療科または協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設の一般内科、一般外科、小児科、総合診療科等で行う。他の診療分野等と同時に研修を行う（内科、外科、小児科、地域医療等の研修期間とダブルカウントする）ことも可能。 一般外来は、研修期間全体で合計4週以上行う。在宅医療は、研修期間全体で1回（0.2週）以上行う。 地域医療研修中における一般外来は、他の研修期間において4週以上の研修を行っている場合は、行う日数に指定はない。 在宅医療は、地域医療以外で在宅医療を行っている場合は、必ずしも行う必要はない。原則として地域医療研修は月単位で行うため、4週を超える月に研修を行う場合や休日診療を行う施設で研修を行う場合等は、地域医療研修期間中に一般外来4週及び在宅医療1回（0.2週）を行ったというカウントも可能となる。地域医療研修中に期間が不足する場合は、総合医療教育研修センターと検討のうえ、研修期間全体としての不足がないよう調整する。						

選択科目（選択科目は産婦人科を重点とした研修を行う。）・・・

千葉大学医学部附属病院：消化器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー・膠原病内科、呼吸器内科、脳神経内科、総合診療科、感染症内科、腫瘍内科、救急科・集中治療部、麻酔・疼痛・緩和医療科、心臓血管外科、食道・胃腸外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、小児外科、小児科、産科・婦人科、精神神経科、乳腺外科、泌尿器科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、形成・美容外科、脳神経外科、放射線科、リハビリテーション科、和漢診療科、内視鏡センター、検査部、病理診断科、周産期診療ユニット（周産期母性科、小児科、小児外科共通）

千葉医療センター：消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、麻酔科、泌尿器科、整形外科、眼科、皮膚科、頭頸部外科、精神科、産婦人科、小児科、放射線科、救急部・集中治療部、病理部

千葉市立海浜病院：消化器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器外科乳腺外科、小児外科、麻酔科、泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、病理診断科、新生児科

成田赤十字病院：内科、消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、血液腫瘍科、腎臓内科、神経内科、外科、心臓血管外科、麻酔科、泌尿器科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、形成外科、精神科、脳神経外科、産婦人科、小児科、新生児科、放射線科、救急科

千葉市立青葉病院：救急科　千葉県こども病院：小児科　下志津病院：小児科

帝京大学ちば総合医療センター：小児科　まなこどもクリニック：小児科

こんだこども医院：小児科　さとう小児科医院：小児科　外房こどもクリニック：小児科

袖ヶ浦さつき台病院：精神科、外科、リハビリテーション科

千葉リハビリテーションセンター：リハビリテーション科　木村病院：精神科　みはま病院：泌尿器科

北千葉整形外科稲毛クリニック：整形外科

北千葉整形外科幕張クリニック：整形外科

子ども在宅クリニックあおぞら診療所うえの：在宅医療　篠崎医院：在宅医療

すずらんクリニック：在宅医療　黒砂台診療所：在宅医療　おゆみの中央病院：在宅医療

国立保健医療科学院：保健・医療行政

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号 030149

臨床研修病院の名称 千葉大学医学部附属病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号

臨床研修病院群名

6. 研修スケジュール (一年次・二年次いずれかに○)

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称)	研 修 分 野 * 2	1~	5~	9~	11~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
公立長生病院南浜診療所, 医療法人鎗田病院, ふらっとクリニック稲毛, 医療法人緑栄会三愛記念病院, わかばクリニック, こんだこども医院, さとう小児科医院, まなこどもクリニック, 医療法人柏葉会 柏戸病院, 君津中央病院大佐和分院, 三咲内科クリニック, 東庄町国民健康保険東庄病院, つばきこどもクリニック, 外房こどもクリニック, 千城台クリニック, 松本医院, 国保多古中央病院, 鴨川市立国保病院, つかだファミリークリニック, 医療法人社団明康会 かない内科, 医療法人SHIODA 塩田病院, 香取おみがわ医療センター, いすみ医療センター, 篠崎医院, すずらんクリニック, おゆみの中央病院, 鋸南病院	地 域 医 療					1	1	1	1		1	1	1	1

- * 1 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。